

Ibaraki 1day Trip Guidebook

大地の広がりと 文化を訪ねて



大河、利根川は関東平野を生み 多くのひととものを運びました 鬼怒川、小貝川はひとに身近な川 きぬ(絹)とこかい(蚕飼)の名のゆかしさは 綾なす結城紬の歴史へと続きます 平野の旅、ゆったりとまいりましょう



利根、鬼怒、小貝 川とともに 育まれた風土

茨城県西は川を抜きにしては語れません。関東平野を流れる日本を代表する大河川のひとつ利根川は、幾度となく河道を変え、いまの流路の形に落ち着いたのは、江戸時代から明治時代にかけて。江戸時代初頭、徳川家康が江戸城に入府後、東京湾に流れていた利根川を銚子から太平洋へと流れを替える、瀬替えに着手。いくたびもの失敗を繰り返し、半世紀近くかけて船で安全に物資を運べる内陸水路が整備されました。同時に河川の周りに広大な新田が生み出されていきました。利根川やその水系の鬼怒川、小貝川の一帯で良質の米が採れる環境は、江戸期以降に形作られてきたのです。

県西の主要都市、すなわち、下館(筑西市)、古河、結城、境、五霞、下妻、 水海道 (常総市) などが栄えてきた背景には、川が運んで来た、物・ひと・情報を積み降ろしする河岸の存在が大きいといえます。

河川が生み出した平野を巡る鉄道の旅には、ゆったりした時間が必要。 JR水戸線の下館駅は、北に向かう真岡鐵道と南に向かう関東鉄道常総線の 始発駅。真岡鐵道といえば土日中心に運転されるSLがすっかり知られるよ うになりました。常総線は、平成27年関東・東北豪雨で被害を受けたもの の、鉄道ファンの声援などで復旧しました。常総線の下館〜水海道は単線な がら、通勤路線にはない風情が味わえ、沿線には古くから伝わる珍しい祭礼 がいまも伝わります。

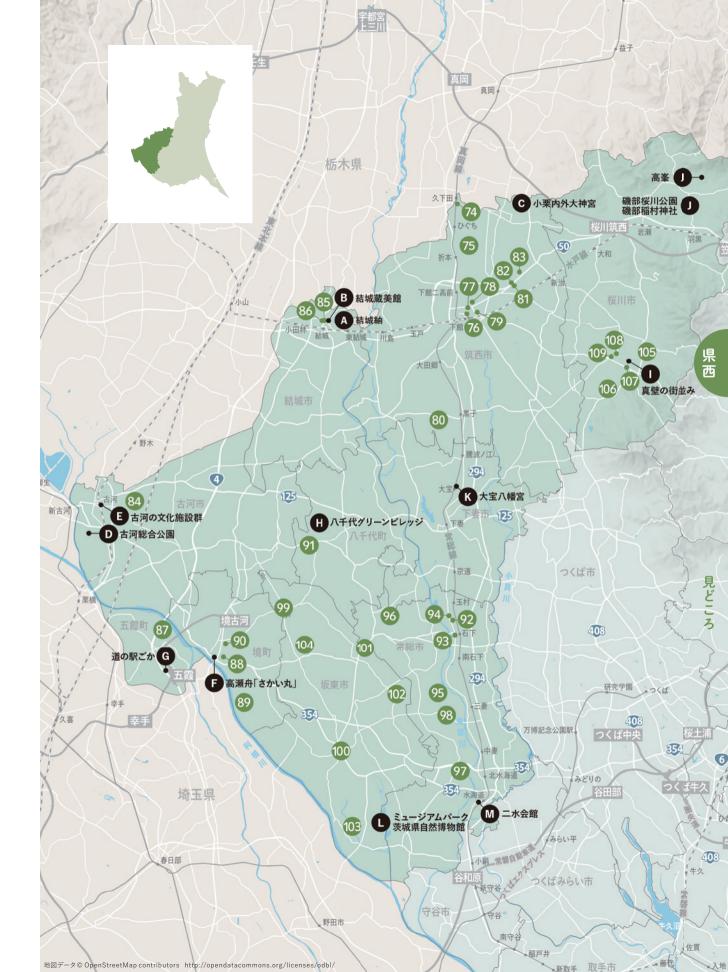


写真は「常陽フォトコンテスト」入賞作品

上: 「夕暮れの境河岸」 (境町 境河岸堤防、傳田貴大)

下: 「振降す畳に願いを込めて」(下妻市 大宝八幡宮、横山次郎)





結城紬

ユネスコの無形文化遺産に登録さ れた結城紬。結城市内に織物の体 験できる施設が何か所かあります。 その主なものを紹介します。

「紬の里〕 結城市結城2515 ■ 平日9:30 ~17:00、土日10:00~17:00(体験は 16:00までに入店) 🖪 祝日、第1日曜日、 年末年始、お盆 ● 0296-32-8002 【体 験】織り、染め

「つむぎの館」結城市結城12-2 図9:30 ~17:00(入館は~16:30) 🖪 火曜日(祝 日は営業)、年末年始 🖪 入館無料(資 料館は大人200円) 0296-33-5633 【体験】織り、染め (要予約)



結城の街歩きの拠点に

結城市結城1330 및 IR水戸線「結 城駅 | 北口から徒歩約10分 図 4月 ~ 10 月=9:30~18:00、11月~3月 =9:00~17:00 個 木曜日、年末年始



「結城市伝統工芸館」

結城市結城3018-1 図10:00~16:00 磁 水曜日、年末年始 ● 0296-32-1108 【体験】地機織り(要予約)

太々神楽の奉納があるお社

小栗内外大神宮

伊勢神宮の領地、御厨として成立

した小栗の地に建つ神社。大同元

(806) 年頃の創建とされ、内宮本殿

と外宮本殿、2棟の社殿が東西に

内外大神宮太々神楽が

筑西市小栗1 ■ JR 水戸

線「新治駅」から車で約

15分 0296-22-0183

奉納されます。

(筑西市文化課)



「本場結城紬郷土館」

結城市結城116 图 平日9:30~17:00、

土・目・祝日10:00~17:00 不定休 ●

0296-32-2121 【体験】 地機織り(要予約)

古河公方はじめ歴史遺産が随所に

古河総合公園

古河総合公園は、敷地25.2ha。室 町時代に関東を治める鎌倉公方、 足利成氏が館を構えた場所に造ら れました。川を引き込んで造られた 御所沼など自然の地形を利用した 当時の景観を保全活用。ユネスコ のメリナ・メルクーリ賞を受賞しまし た。公園は、約2.000本が植えら れた桃林、雑木林を主体とした公 方様の森、浅間、赤城、富士など山々 が望める富士見ヶ丘などからなりま す。古河を代表する桃は、江戸時 代の古河藩主土井利勝が、領地に 桃の木を植えさせたことから。4月に 「古河桃まつり」が開催されます。

古河市鴻巣399-1 MIR 宇都宮線「古河駅」西 口から朝日バス「境車 庫」行き「原十字路」下 車、徒歩15分 图 無休 ■ 無料 0 0280-47-1129(古河総合公園管 理事務所)





古河の文化施設群

城下町の趣きをとどめる古河。古 河の街並みを見ながら文化施設巡 りはいかがでしょう? 「古河歴史博 物館」とその前にある「鷹見泉石記 念館 |。篆刻専門の「篆刻美術館 |。 古河市ゆかりの作家を紹介した 「古河文学館」。市民の創作活動の 場「街角美術館」など。ほかに直 木賞作家「永井路子旧宅 | など多く の見どころが点在しています。

古河駅西口の日光街道周辺 MIR 宇都宮線「古河駅」※駅構内に観光 案内所があります(10:00~15:00) 図 9:00~17:00 歴 国民の祝日の 翌日、毎月第4金曜日、年末年始 ■【歴史博物館】一般400円、小中高 生100円【文学館】一般200円、小中 高生50円【篆刻美術館】一般200円、 小中高生50円【ほか】無料 ● 0280-91-1811(古河市観光協会)



篆刻美術館



江戸時代の舟運に思いを馳せて

高瀬舟「さかい丸

江戸時代、利根川は、銚子から関 宿の江戸川を経由して日本橋まで の安全な内陸水路として、舟運が 盛んでした。その当時、物資を運ぶ のに利用されたのが「高瀬舟」です。 現代版として蘇った高瀬舟「さかい 丸」は、境河岸から出て、利根川と 江戸川の分岐点を経て、関宿閘門 との間を30分間かけて遊覧。関宿 城博物館など利根川の雄大な景色 を堪能できます。お申し込み・乗船 受付は、道の駅さかいで。



境町利根川境河岸 ■ JR宇都宮線「古 河駅」から車で20分 図【通常運航】 金·土·日曜日=10:30、13:00、14:30 【予約貸切】火·水·木曜日=10:30~ 14:30 图 月曜日 图 大人1,000円、小人 500円、貸切15.000円 0280-87-7333 (道の駅さかい)



川に囲まれた町の 特産品がいっぱい

道の駅ごか

利根川、江戸川、中川など河川に囲 まれた五霞町。茨城県の西の玄関 口として、埼玉、千葉との県境にあり、 交通の要衝としての役割を担ってき ました。道の駅ごかは、地場産の 新鮮な野菜が並ぶ直売所。郷土料 理が味わえるレストラン、物産品コー ナーなど地域色満点。茨城県銘柄 豚を100%使用した肉まん「ローズ ポークまん」、町イメージキャラクター 「ごかりん」の人形焼は、地元産米 粉を使っています。

五霞町幸主18-1 ■ 圏央道「五霞IC」 から国道4号線を小



山方面へ2~3分 図 9:00~19:00 图第1 第3月曜日 ■ 無料 **0** 0280-84-1000

自然と心のふれあいのスペース 八千代 グリーンビレッジ

生産量日本一の白菜で知られる 八千代町。自然林をそのまま生かし て整備されたのが八千代グリーンビ レッジです。施設内には、多目的に 活用できる広場、木製遊具のアスレ チック、水辺の植物が観察できる湿 性植物園、木のぬくもりの伝わるコ テージが建つキャンプ場があります。 また、地下1.500 mから湧き出る「や ちよ乃湯 | ではゆっくりと温泉に入っ てリフレッシュをすることができます。

八千代町大字松本592 M JR宇都宮線 「古河駅」からJRバス「松本」行き50分、 「松本」下車、徒歩20分 ■ 10:00~ 21:00 图 第2、4水曜日 图【昼間】大 人700円、小人300円【夜間】大人600 円、小人200円 0296-48-4126





結城蔵美館

並立する建物配置は国内でも最古 平成26(2014)年5月に開館した本 とされることから、国重要文化財に 蔵、袖蔵の2棟からなる展示資料館。 指定。境内には茨城県指定文化財 本蔵で結城市ゆかりの作家の作品 の御遷殿もあります。伊勢神宮と同 を展示し販売。袖蔵で結城の歴史 じく向かって右の内宮に天照大神、 や文化を学べる資料を展示してい 左の外宮に豊受大神がまつられて ます。見世蔵や寺社など伝統的な います。年2回の大祭 (4/21の直前の 街並みが残る結城。ここを拠点に、 日曜日、11/10の直前の日曜日)には、茨 ゆったり街歩きが楽しめます。

■ 無料 ● 0296-54-5123







400年前の町割りが残る おひなさまの町

真壁の街並み

真壁地区は、戦国時代末の町割り が残り、見世蔵、町家、酒蔵などの 国の登録文化財も多く、茨城県初 の重要伝統的建造物群保存地区に 選定されました。毎年2月4日~3 月3日にお雛様を飾る「真壁のひな

上:磯部桜川公園の桜

下:高峯の山桜

超える人で賑わいます。 桜川市真壁 圏 ひなまつりの期間中の

まつり|は、「寒い中、真壁に来る人

をもてなそう という住民の気持ち

が溢れています。期間中10万人を

一定期間=つくばエクスプレス「つくば 駅」とJR水戸線「岩瀬駅」から臨時バ スが運行されます (運行日などは事前に ご確認ください) 🛭 ひなまつりは10:00 ~17:00が目安 0296-55-1111(桜川 市商工観光課)

桜川市で巡るさくらの名所

磯部桜川公園、 磯部稲村神社、高峯

「桜」を市の名前に冠する桜川市は、 桜の名所でもあります。約500本 の山桜を中心に約800本の桜が咲 く「磯部桜川公園」と、公園に隣接 した「磯部稲村神社」では天然記 念物指定種や貴重な桜があり、例 年4月10日前後が見頃。磯部稲村 神社は、世阿弥の謡曲「桜川」にも 登場。開花時期にはガイドが常駐 します。磯部地区の北に位置する 平沢地区の「高峯」は、磯部地区よ り1週間ほど遅れて自生の山桜が見 頃を迎えます。麓からの眺めに加え、 2km上の展望台からは、山桜を間近 にめでることができます。

桜川市磯部地区、平沢地区 III 水戸 線「岩瀬駅」から車で約10分、JR水戸 線「羽黒駅」から徒歩30分 ● 0296-55-1111(桜川市商工観光課)



大宝八幡宮は、関東最古の八幡宮 といわれ、大宝元 (701) 年に藤原時 忠が筑紫 (福岡県) の宇佐八幡宮か ら勧請したといわれます。境内は、 中世・南北朝時代の大宝城跡(国 指定史跡) の一部。八幡宮本殿は 三間社流造で、安土桃山時代の 建築。境内北側に約300種4,000 株のあじさいが植えられ、6月下旬 の「あじさい祭り」では、境内の馬 場で「流鏑馬神事」も行われます。 また、9月12日・14日の「タバンカ祭」 (=P42写真)は、白装束の氏子が畳 と鍋蓋を石畳に叩きつけ、松明を持 ち境内をかけまわる珍しい火祭。

下妻市大宝667 및 関東鉄道常総線「大 宝駅」から徒歩3分 ■無料 ● 0296-





関東最古の八幡さまとして 信仰を集める

大宝八幡宮

44-3756



自然の不思議をわくわく体感

すがおぬま 菅生沼を見下ろす台地にある博物 館。本館は、宇宙から茨城県の自 然までテーマごとに幅広く、分かり やすく展示。本館だけでなく広大 な野外施設での自然観察も楽しめ ます。常設展示のほか、興味深い 身近な視点からの独自の企画展を

坂東市大崎700 🗷 つくばエクスプレ

ス「守谷駅」西口1番バスのりばから関

東鉄道バス「岩井」行き20分「自然博

物館入口 | 下車、徒歩5分 (バスは1日

に3~4本程度) 図 9:30~17:00 個

月曜日(祝日の場合は翌日) ■【本館・

野外施設】大人530円、高校·大学生

330円、小・中学生100円【野外施設

のみ】大人210円、高校・大学生100円、

小・中学生50円 ※企画展開催時は別

途 0297-38-2000

開催しています。

貴重な擬洋風建築を間近に

二水会館 (旧水海道町役場)

常総市の中心市街地・水海道には、 地元の大工棟梁によって和風建築 工法で建てられた洋風の建築、擬 洋風建築が現存しています。二水 会館(旧水海道町役場)は、大正2 (1913) 年、上高金四郎により設計さ れたといわれ、現在は常総市立図 書館に移築されています。街中に は、五木宗レンガ蔵や旧報徳銀行 水海道支店など、数多くの文化財 の建物が集積しており、それらを 巡って街歩きが楽しめます。なお、 同じ擬洋風建築で、3階の塔屋が 象徴的な水海道小学校は、水戸市 の茨城県立歴史館に移築保存され ています。

常総市水海道天満町 1606 常総市立図書 館 國 関東鉄道常総 線「水海道駅」から 徒歩5分 ● 0297-23-2111 (常総市生涯学 習課文化係)



旧水海道町役場の二水会



「単線雪化粧」 (筑西市 関東鉄道常総線大田郷駅、